

第1章 身の回りの出来事はどうやって決まる？

～クラスの中ではどうやって決めているのだろう？～

(1) どうする？！文化祭

楽しい文化祭。1年生の出し物は舞台で10分間の表現活動です。

すだちくんは、ダンスがいいなって思ってます。でも…周りでは、



っていう声が聞こえてきます。



すだちくんは意を決して「ダンスがいいと思います。」と発言しました。

「じゃあ、歌・ダンスで多数決しましょう。」

—— 結果は、「歌」20人、「ダンス」19人となりました。はい、歌に決定。



でも、ちょっと待って！

「あなたが文化祭をとりまとめる文化委員なら、この決め方で大丈夫？ みんな不満なくできるの？」



私は

理由は

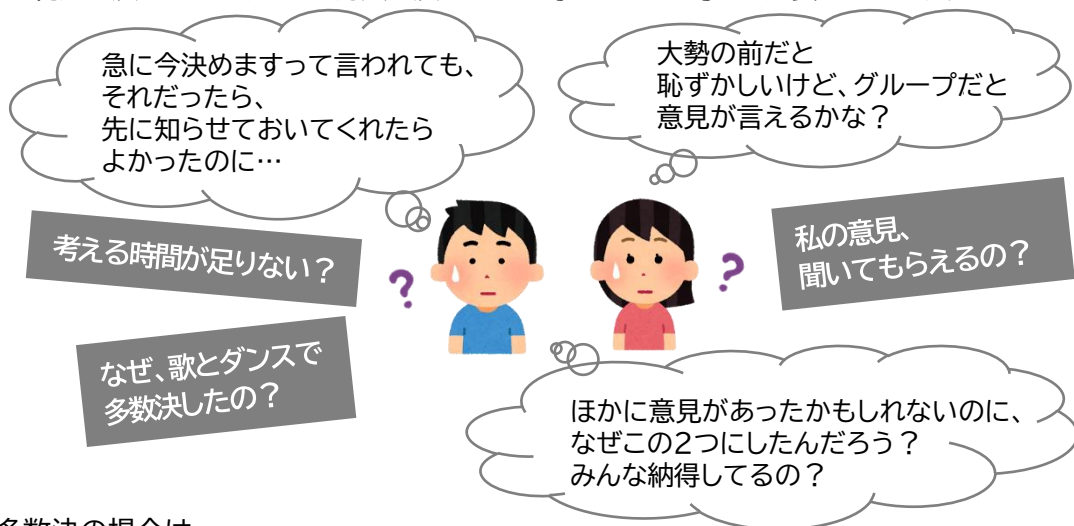
と思います。

だからです。

※ あなたの考えを書き込んでみましょう。

(2) 多数決って、多いもの勝ちなの？

どんな決定方法にも、良いところ悪いところがあって、決めるまでの期間や、何人で決めるのか、どんな方法で決めるのか等、について考える必要があります。



多数決の場合は、

「十分な話し合いによって合意を形成しようとする努力」、

「少数意見の尊重」などが行われて、

はじめて多数決は民主的な決め方になるのですね。

「多数決が少数意見の無視や少数意見の人の権利の侵害につながる。
(多数者の専制)」

トクヴィル

(19世紀フランスの政治家)



「【文化祭の出し物を決定した今回の多数決】が、みんなの意見を反映しきれなかった決め方となった理由は何だったのだろう？」

その理由は

だからです。



じゃあ、「どんな方法で決めるのが、みんなの意見を反映した決め方なのだろう？」

私は

という方法があると思います。

その理由は

だからです。



※ あなたが考えた方法は、「これで完璧!!」でしょうか？

このワークシートは、ハンドブック「18歳で成年になる皆さんへ『私がかわる「社会(YONONAKA)」がかわる！私がかえる「社会(YONONAKA)」をかえる！はじめの一步!!』(徳島県教育委員会)を再編集したものです。

※引用・参考文献 佐伯胖監修『どんな方法があるの？ 決め方の大研究 ジャンケンから選挙まで』2012

総務省・文部科学省『私たちが拓く日本の未来』『同 活用のための指導資料』

注釈は『デジタル大辞泉』『政治・経済用語集』(清水書院)を参考にしています。